

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 手術で腸管を再建し胆道ドレナージを行った患者さんへ

千葉県がんセンターでは、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

術後再建腸管例における内視鏡的胆道ドレナージの有効性に関する検討

#### 2. 研究責任者

消化器内科 喜多 絵美里

#### 3. 研究の目的

手術により腸管をつなぎなおした方(術後再建腸管例)における胆道ドレナージ法は内視鏡ルートの他、経皮ルートや手術などの方法もあり、どのような状況でどのような方法がより最適であるかに関しては、様々な因子が存在するため、系統的な結論はでていないのが現状です。そこで、本調査研究では、胆道ドレナージの実態を後向きに調査することを目的とし、その結果が今後の臨床に役立つものであると考えています。

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

2010年4月1日から2024年3月31日までの期間中に、手術で腸管を再建した方の中で、黄疸や胆管炎などで胆道ドレナージを行った患者さん。

##### (2) 利用させて頂く情報

術後再建腸管例における胆道ドレナージの総件数、年齢、性別、原疾患、胆管閉塞の原因、手術所見、処置の成功率、処置に用いた道具、処置時間、偶発症発生率、再ドレナージまでの期間、生存期間など

##### (3) 方法

上記データを調査し、その情報をもとに術後再建腸管例における胆道ドレナージの実態調査を行います。

#### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

## 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでに公表された内容についてはデータ修正が難しいため、除外が困難であることをご了承ください。

## 7. 問い合わせ先

〒260-8717

千葉県千葉市中央区仁戸名町 666-2

千葉県がんセンター 消化器内科 喜多 絵美里

TEL : 043-264-5431

E-mail : ekita@chiba-cc.jp